

2010年度

科目名	輸液・栄養治療学				
担当教員	廣谷 芳彦				
配当	薬科5・6			コード	80801
開期	集中前期	講時	集中0限	単位数	2
授業テーマ	【選択】 輸液・栄養療法の意義と臨床活用法を学ぶ。				
目的と概要	輸液療法と栄養療法に対して専門的な立場から寄与できる薬剤師業務を行う上で必要な基礎理論および最新の臨床応用と輸液・栄養療法の実践活動およびチーム医療について学ぶ。				
成績評価法	試験(80点)、平常点(20点)とする。				
テキスト	教科書は指定しない。				
参考書	薬剤師のための輸液・栄養療法／(社)東京都病院薬剤師会編／薬事日報社				
履修に当たっての注意・助言	補助教員:名徳倫明、小西廣己				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	水分および電解質バランスの基礎	1. 体液の区分と電解質組成およびが理解できる。	独自	知識
			2. 細胞内外での電解質分布の特性を理解できる。	独自	知識・技能
			3. 体液中の電解質濃度が計算できる。	独自	知識
2	講義	輸液の概念	4. 水分と電解質の正常な出納が理解できる。	独自	知識
			1. 輸液療法の役割を説明できる。	独自	知識
			2. 欠乏輸液と維持輸液の違いを説明できる。	独自	知識
			3. 電解質濃度の変動に応じた補正量が算出できる。	独自	知識・技能
3	講義	脱水症と電解質異常	4. 輸液剤の種類と特性を列挙できる。	独自	知識
			1. 脱水症の成因とこれに対する適切な輸液を選択できる。	独自	知識
			2. 高ナトリウムまたは低ナトリウム血症の治療法が理解できる。	独自	知識
			3. 高カリウムまたは低カリウム血症の治療法が理解できる。	独自	知識
4	講義	酸塩基平衡とその異常	1. 生体の酸塩基調節について理解できる。	独自	知識
			2. 酸塩基平衡異常の種類と原因、および肺と腎臓の代償作用について理解できる。	独自	知識
			3. 酸塩基平衡異常の治療法を説明できる。	独自	知識
5	講義	臨床栄養の基礎	1. 医療現場で用いられる栄養療法が説明できる。	独自	知識
			2. 病態別で用いられる栄養療法が説明できる。	独自	知識
6	講義	輸液の種類	1. 輸液の種類が列挙できる。	独自	知識
			2. 輸液の組成を理解できる。	独自	知識
			3. 病態別輸液を説明できる。	独自	知識
7	講義	輸液処方設計	1. 個々の患者に必要な輸液処方が設計できる。	独自	知識
			2. 病態別の輸液処方が設計できる。	独自	知識
8	講義	静脈栄養法	1. 静脈栄養の投与経路が説明できる。	独自	知識
			2. 静脈栄養剤の種類と組成、特徴が説明できる。	独自	知識
			3. 静脈栄養法の基剤と取り扱い、管理が説明できる。	独自	知識
			4. 静脈栄養の合併症と対策が理解できる。	独自	知識
9	講義	経腸栄養法	1. 経腸栄養法の各種投与法が説明できる。	独自	知識
			2. 経腸栄養剤の種類と特徴が説明できる。	独自	知識
			3. 経腸栄養法の基剤と取り扱い、管理が説明できる。	独自	知識
			4. 経腸栄養の合併症とその対策が理解できる。	独自	知識
10	講義	医薬品と食品・嗜好品との相互作用	1. 各過程での相互作用が説明できる。	独自	知識
			2. 代表的な食品との相互作用が理解できる。	独自	知識
11	講義	最新のがん化学療法(1)	1. がん化学療法における薬剤師の役割が説明できる。	独自	知識
			2. 代表的ながん化学療法の処方が理解できる。	独自	知識

12	講義	最新のがん化学療法(2)	1. 代表的ながん化学療法の処方チェックができる。	独自	知識
			2. 代表的ながん化学療法の副作用が理解できる。	独自	知識
13	講義	緩和医療における薬剤師の役割(1)	1. WHO方式がん疼痛治療法が説明できる。	独自	知識
			2. がん疼痛治療に使用する各鎮痛剤、鎮痛補助剤が説明できる。	独自	知識
			3. 副作用対策が説明できる。	独自	知識
14	講義	緩和医療における薬剤師の役割(2)	1. 緩和ケアチームの役割が説明できる。	独自	知識
			2. 緩和治療の症例を理解できる。	独自	知識
15	演習	総括	1. まとめ	独自	知識
授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
独自	講義	講義室	3	パワーポイント、配布資料	90×14
独自	演習	講義室	3	配布資料	90×1